

境港市総合戦略 骨子（案）

平成 27 年 7 月

境 港 市

※当骨子（案）については、平成 27 年 7 月 9 日の
会議時点のものであり、確定したものではありません。

【Ⅰ はじめに】

1. 総合戦略の策定について

(1) 策定の趣旨

本市の重要課題である人口減少と地域経済縮小を克服し、魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる「境港市」を構築していくために、本市の持つ特性・魅力を生かし、人口、経済、地域社会の課題に一体的・持続的に取り組んでいくために「境港市総合戦略」を策定する。

(2) 総合戦略の位置づけ

本市の自主性・主体性を発揮しながら、「まち・ひと・しごと創生」に関する施策についての基本的な計画

(3) 対象期間

2015年度（平成27年度）～2019年度（平成31年度）までの5年間

【Ⅱ 基本的な考え方】

1. 本市の現状

本市における人口は、昭和60年の38,394人を最大として、その後、僅かな増減の状況が続き、平成18年までは、37,000人以上をキープしていたが、平成19年以降は年々減少し、平成27年3月現在34,934人となっている。また、生産年齢人口（15～64歳）についても減少し続けており、本市の主要産業である漁業従事者の高齢化、担い手不足といった問題も顕在化している。

2. 「まち・ひと・しごと創生」の5原則を踏まえた施策展開

国の「まち・ひと・しごと創生」政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）に基づき、関連する施策を展開する。

3. 取組体制とPDCAサイクル

産・官・学・金・労・言等で組織する「境港市総合戦略推進会議」により、5ヶ年の戦略を策定・実行する体制を整え、KPI（重要業績評価指標）に基づき、毎年度施策の効果検証・改善を行い、必要に応じ「総合戦略」の見直しを行う。

4. 地域間の連携推進

- 鳥取県との連携、継続的な取組の推進
- 中海・宍道湖・大山圏域での広域連携

【Ⅲ 取組の基本的方向と基本目標】

1. 2つの道筋と2つの視点

人口減少の克服と本市の創生の実現のため、本市の持つ特性・魅力を生かした2つの道筋と2つの視点に立った「総合戦略」を策定し、施策を展開していく。

なお、施策の展開にあたっては、本市の魅力のPRを図るため、情報発信に努めていく。

○2つの道筋

- ① 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり
- ② 「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

○2つの視点

- ① 市民参画による『協働と改革』
- ② 中海・宍道湖・大山圏域が一体的な発展を目指す『連携と共栄』

2. 基本目標

人口減少問題に取り組むとともに、本市の多様な資源や特色を生かしたまちづくりを進め、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すために、2つの道筋の「基本目標」を設定する。

あわせて、古くから地理的・歴史的つながりがある中海・宍道湖・大山圏域の5市7町村が連携し、人口減少に対する圏域でのダム効果を発揮するため、産業振興や観光振興の取組についての「圏域の目標」も設定する。

<基本目標①> 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

本市の有する重要港湾『境港(さかいこう)』、特定第三種漁港『境漁港』、国際空港『米子鬼太郎空港』という重要な社会基盤である3つの「港」、日本有数の水揚量を誇る水産資源、水木しげるロードに代表される観光資源を生かしたまちづくりを進め、本市の魅力を高めることにより、『ひと』、『もの』の交流を一層促進し、観光の振興、産業を活性化し、『しごと』の創出を図ることで、雇用の拡大、定住促進を実現させる。

目 標	雇用創出数：5年間で200人 水木しげるロード年間観光入込客数：年間200万人の以上の維持
-----	--

<基本目標②> 「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

本市の合計特殊出生率は、全国平均を上回るものの、平成23年からは、県平均を下回っている。これまでも限られた財源の中、「子育てするなら境港」を標榜して、保育料の引き下げなど市独自の子育て支援策を実施し、少子化対策に懸命に取り組んでいるが、今後より一層、子どもを産み・育てやすい環境の整備に努め、出生率を上げ、少子化に歯止めをかけることを目指す。

目 標	保育園待機児童ゼロ、合計特殊出生率：5年後に1.80%
-----	-----------------------------

《圏域の目標》 県境を越えた広域連携により魅力ある圏域づくり

古くから地理的・歴史的つながりがある中海・宍道湖・大山圏域の5市7町村では、中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンを策定し広域的な取組を行っている。まち・ひ

と・しごと創生の取組についても、産業・観光振興、交通ネットワークの充実等雇用や首都圏からの人の流れの創出につながる事業を圏域で取り組むことで、単体で取り組む以上の効果をもたらすものであり、これまでの圏域での取組を基に連携協働で取り組んでいく。

目 標	圏域観光客数：5年間で〇〇人、圏域企業立地数：5年間で〇〇件
-----	--------------------------------

【Ⅳ 具体的施策】

◆ 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

(1) 産業振興・雇用創出

【施策の基本的方向】

- ①国内・外への市場拡大及び新商品開発支援
- ②農業・水産業の担い手育成・確保
- ③企業誘致及び起業・創業の拡大

【①国内・外への市場拡大及び新商品開発支援の施策例】

- 官民連携による境港産農水産物の付加価値向上（ブランド化）とPR強化及び販路拡大のための支援体制の充実
- 特産品を活用した商品開発への支援や開発した商品の国内外へのPR強化
- 境港に寄港するクルーズ船に対する県産食材の試食会やPRによる販路拡大の推進
- 圏域内外の企業を結び付けるビジネスマッチングの開催や圏域企業を紹介するデータベース化などによる支援の推進
- DBS航路や中韓コンテナ航路を活用した販路拡大に対する支援制度の拡充
- 6次産業化に取り組む民間事業者や団体などへの支援制度の整備

(2019年度成果目標)

- 新商品開発支援件数：5年間で20件
- 雇用創出数：5年間で150人

【②農業・水産業の担い手育成・確保の施策例】

- 沿岸、沖合漁業等への新規就業希望者への研修等を実施する事業者への支援や新規就農者の就農初期費用の助成などの新規就業環境の充実
- 国及び県との連携による就農に対する給付や住宅整備などの支援
- 荒廃農地の有効活用を図るため、農業公社による農地の流動化の促進
- 既存施設を活用した「伯州綿」に触れる機会の創出や官民連携した学ぶ場の創出
- 種まきから収穫までを体験できる場の創出

(2019年度成果目標)

- 新規就農者：5年間で5人
- 新規漁業就業者：5年間で50人

【③企業誘致及び起業・創業の拡大の施策例】

- 企業誘致推進のためのフェアの参加、企業訪問の実施及び企業誘致推進体制の整備
- 地域の特性・実情に応じた業種に対する企業誘致活動の推進
- 企業立地と雇用の拡大を図るため、操業時の投下固定資産総額、新規雇用人数に応じて、企業立地補助金、固定資産税減免、雇用奨励金などによる支援制度の充実
- 鳥取県西部地域（9市町村）で、新設又は増設し、雇用を拡大した企業の支援や企業立地フェアに出展するなど広域での取組の推進
- 竹内南地区貨客船ターミナル整備を契機とした企業誘致活動の促進
- 県と連携し、創業時の初期投資の補助や創業貸付の利子補給などの支援体制の整備
- 地域ファンドや官民ファンドなど金融支援体制についての検討
- 小規模事業者向け融資の利子補給など支援体制の整備
- 国産材、県産材の消費量増加を図るため、施設整備に対する支援
- 企業誘致推進などの委員会委員の民間委嘱や協定締結などの官民連携強化の促進
- 鳥取県西部地域での「創業サポートセンター」の設立や市相談窓口設置など創業に向けた支援体制の充実

(2019年度成果目標)

- 誘致企業数：5年間で15社
- 起業・創業社数：5年間で10社
- 雇用創出数：5年間で150人

(2) 観光の振興

【施策の基本的方向】

- ①観光地の魅力度向上
- ②外国人観光客の誘客促進
- ③米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進

【①観光地の魅力度向上の施策例】

- 全国に知名度を誇る「水木しげるロード」の1車線化、歩道拡張、妖怪ブロンズ像の再配置などの大規模リニューアルの実施
- 水木しげるロードリニューアルに合わせた、官民連携による街並み整備の促進
- ホテルの開業に合わせ、水木しげるロードのライトアップなど夜間の賑わい創

出及び滞在時間延長への取組の推進

- 観光客の満足度の向上を図るため、水木しげる作品のキャラクターの着ぐるみによるおもてなしの充実
- 圏域内観光情報アプリの活用などの観光ICT化の推進
- 水木しげるロードと他の観光施設を結ぶ無料シャトルバスの運行などの2次交通の充実
- 水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭、漁港見学ツアーなどのイベントの充実など水産資源を生かした観光の推進
- ブルーツーリズムなどを推進する体験メニューの造成と受け入れ態勢の整備
- 既存観光施設の整備と名所や旧跡などの新たな観光資源の掘り起こしによる観光地の魅力度向上
- 「みなと祭」や「境港妖怪ジャズフェスティバル」などのイベント開催の支援による誘客の促進
- 県、関係機関と連携した教育旅行の誘致やロケ地誘致の推進
- 隠れた良いものの掘り起こしから販売促進を行う「いいものマルシェ」の開催支援

(2019年度成果目標)

- 水木しげるロード年間観光入込客数：年間200万人以上を維持

【②外国人観光客の誘致促進の施策例】

- 県や圏域市町村などとの連携による大型クルーズ客船の寄港促進
- クルーズ客船、国際チャーター便等の外国人観光客に対するお出迎え・お見送りイベント、交流イベントなどの実施によるおもてなしの向上
- クレジットカード・電子マネー対応、免税店の開設、公衆無線LANの整備、多言語対応ガイドマップの作成などの外国人観光客受入体制の整備
- YouTubeやSNSを活用した情報発信の充実
- 外国語会話ができる人材育成のための教育の充実

(2019年度成果目標)

- クルーズ船寄港年間外国人観光客数：1.4万人（2014年）⇒3万人
- 国際線利用者数（アジアナ航空・チャーター便）
：3.8万人（2014年）⇒5万人
- DBSクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）
：1.7万人（2014年）⇒2万人

【③米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進の施策例】

- 県や関係機関と連携して、グループ旅行支援、DBS・アジアナ航空を利用した周遊型旅行商品の造成支援などの充実
- 中海・宍道湖・大山圏域の連携による環日本海定期貨客船航路の運航支援

○県や関係機関と連携した米子鬼太郎空港活性化の推進

(2019年度成果目標)

- 年間空港利用者数（ANA便）：49.6万人（2014年）⇒ 60万人
- 国際線利用者数（アジアナ航空・チャーター便）
：3.8万人（2014年）⇒ 5万人
- DBSクルーズフェリー乗客数（境港～東海間）
：1.7万人（2014年）⇒ 2万人

(3) 社会基盤の整備

【施策の基本的方向】

- ①竹内南地区の国際貨客船ターミナル整備（国土交通省直轄事業）
- ②境漁港の高度衛生管理型市場に向けた整備（県実施事業）
- ③みなとを核とした官民連携による賑わいづくり
- ④米子市～境港間の高規格道路の早期実現
- ⑤境港出雲道路の早期実現

【③みなとを核とした官民連携による賑わいづくりの施策例】

- 竹内南地区貨客船ターミナル整備事業に合わせて、県勢の振興とターミナル周辺の賑わいづくりを図るため、県と協働で水族館の検討
- 夢みなとタワー周辺地区の魅力向上への取組の検討

(4) 移住・UIJターンの促進

【施策の基本的方向】

- ①移住・UIJターンの促進・情報発信の充実

【①移住・UIJターンの促進・情報発信の充実の施策例】

- 月5,000円程度で100坪相当の土地が51年間賃借できる夕日ヶ丘地区の定期借地権制度を活用した移住者への住環境整備の充実
- 大型防災ヘリコプター配備など自衛隊美保基地の機能強化への国への働きかけ
- 鳥取大学の水産学科や国・県の補助機関、研究施設などの設置に対する働きかけ
- 近隣市と共同での新卒大学生等を対象にした就職情報サイトの運営、就職フェアの開催など地元就職の支援体制の整備
- 地域おこし協力隊制度を活用した、地域の特産「伯州綿」事業の充実、移住・定住の推進
- 産・官・学が連携し、インターンシップ実施、学生と企業のマッチング体制の充実など若者の定住施策を推進

- 「全国移住ナビ」など、インターネットを活用した移住定住希望者への情報発信の充実
- 本市への愛着を醸成し、将来のUターンにつなげるため、子どもを対象とした郷土愛づくりへの取組の推進

(2019年度成果目標)

- 移住・定住者数：5年間で200人
- 市外在住者の定期借権契約件数：5年間で50件

◆「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

(1) 少子化対策・子育て支援

【施策の基本的方向】

- ① 出会いの場の創出
- ② 安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実

【①出会いの場の創出の施策例】

- 結婚希望者への婚活支援として、婚活コーディネーター設置の検討など相談、支援体制の充実
- 未婚、晩婚化の解消を図るため、中海・宍道湖・大山圏域（5市6町1村）で一体となり、地域の特色を生かした交流会などの婚活支援事業を実施

(2019年度成果目標)

- 年間婚姻数：5年後に450組

【②安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実の施策例】

- 特定不妊治療と人工授精に要する経費の助成
- 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援の充実
- 県と連携し、第3子以降の保育料の無料化など保育料についての保護者負担の軽減
- 県と連携し、医療費の助成対象を拡充（15歳⇒18歳まで引き上げ）
- 配偶者のない父または母が養育している児童の小・中学校入学に際し、支度金を助成
- 保育士の就労環境の改善を図るため、私立保育園の保育士を増員するための費用を助成
- 病気又はその回復期にあり、集団保育が困難な児童の専用施設での一時保育の実施
- 保育環境の改善のため、こども支援センターの設備整備等の実施
- 児童クラブ事業の実施及び受入対象児童の拡充（小学校4～6年生児童の受入）

- 赤ちゃん教室、ブックスタート、親子関係づくり・地域交流促進のための学習会、講演会の開催など親子の関わりやコミュニケーション力向上に向けた事業の充実
- 地元食材、人材を活用した食育事業の実施
- 高齢者を活用するなど地域での子育て支援施策の充実
- 地域と学校が連携した地域の歴史・風土などを学ぶ「ふるさと学習」の充実
- 小学校、保育園、幼稚園の連携体制の充実
- 子どもの外遊び環境の充実のための遊具整備、除草回数の増加などの公園整備の充実

(2019年度成果目標)

- 合計特殊出生率 1.55 (2014年) ⇒ 1.80
- 保育園待機児童ゼロ
- 児童クラブ受入児童の拡大 (小学校4～6年生の受入)
⇒5年間で全校区実施

(2) 女性活躍の推進、ワークライフバランスの啓発・支援

【施策の基本的方向】

- ① ワークライフバランスの啓発・支援
- ② 女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減

【①ワークライフバランスの啓発・支援の施策例】

- 事業所を対象にしたセミナーを開催など、ワークライフバランスや男女均等な能力活用について周知・啓発の実施
- 男女がともに働きやすい就労環境実現に向けた啓発事業の実施

(2019年度成果目標)

- 「鳥取県男女共同参画推進企業」認定割合 3.2% (2014年) ⇒ 8.0%

【女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減の施策例】

- 地域、医療・介護の連携した地域包括ケアシステムの構築
- 介護（認知症）予防教室の開催、健康診断の受診勧奨など健康寿命の延伸に向けた取組の実施

(2019年度成果目標)

- 75歳以上人口に占める要介護認定者の割合抑制 34.6% ⇒ 37.0%

◆県境を越えた広域連携により魅力ある圏域づくり

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会

【施策の基本的方向】

- ①国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成
- ②交通ネットワークの充実
- ③住みたくなる圏域づくり
- ④住民サービスの向上

【①国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成の施策例】

- 北東アジアに向けたゲートウェイ機能のさらなる活用
- 圏域企業の海外進出支援のための官民挙げた「インド」進出
- 圏域の特長を活かした企業や研究機関の誘致
- インバウンド観光の推進
- 地域資源の発掘
- 圏域への移住・定住の促進

【②交通ネットワークの充実の施策例】

- 5市を2つの湖を介して結ぶ「8の字ルート」の早期完成

【③住みたくなる圏域づくりの施策例】

- 自然環境の保全と活用

【④住民サービスの向上の施策例】

- 「公共交通の利便性向上」、「人材育成の共同化」、「公共施設の共同利用」の推進

(2019年度成果目標)